

地理歴史科(日本史A)学習指導案

| | | | | 月日 | 10月28日 (水) | | |
|------|---|---|-----|--|------------|--|--|
| | | | | 時限 | 6 時 限 | | |
| 普通科 | 2年 7組 | 2-7教室 | 指導者 | 高橋 正年 | | | |
| 単元 | 第5章 昭和の恐慌と満州事変 | | 教科書 | 改訂版 日本史A | | | |
| | | | 発行所 | 山川出版社 | | | |
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後から続く日本の恐慌に着目し、日本社会に与えた影響を国内外の様々な動きから意欲的に追究するとともに、将来の平和と安定を担う日本国民としての自覚を持ち、その責任を果たそうとしている。 (関心・意欲・態度) ・恐慌とその収束過程について、公民科の既習事項を確認しながら課題を見いだし、1920年～30年代初頭の社会情勢と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。 (思考・判断) ・国際情勢及び我が国の状況の変化に関する様々な資料・地図等を効果的に活用することを通して、日本の政治、経済、社会、外交等の特色を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を時系列に沿って適切に表現している。 (技能・表現) ・第一次世界大戦後から二・二六事件直前までの我が国の状況についての基本的な事柄を、この時期の国際関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 (知識・理解) | | | | | | |
| 指導計画 | 1. 昭和恐慌 (2時間) ・ 本時はこの1時間目 2. 政党内閣期の内政と外交 (2時間) 3. 満州事変 (2時間) | | | | | | |
| 本時目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後から続く恐慌の発生から収束までの状況を、教科書や『図録』、授業プリントを活用することを通して、政治、経済、社会、外交等の特色をこの時期の国際関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、その後の直接的軍事行動へ向かっていく要因となっていることを理解できるよう時系列に沿ってプリントにまとめている。 | | | | | | |
| 準備資料 | ・教科書 ・『詳説日本史図録 第2版』(山川出版社) ・自作の授業プリント | | | | | | |
| | 指導内容 | 学習活動 | 時間 | 指導上の留意点 | | | |
| 導入 | 前時の復習 戦後恐慌と関東大震災 | <ul style="list-style-type: none"> ・戦後恐慌へ陥っていった状況を再度確認する。 ・関東大震災後の政府の対応を確認する。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・金本位制を含めて国際情勢の変化を意識させる。 ・教科書の他、『図録』やプリントを用いて「震災手形」の処理に手間取っている事を実感させる。 | | | |
| 展開 | 展開 1. 金融恐慌 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌の発端となった震災手形の仕組みについて知り、日本の資本主義が当面している課題を理解する。 | 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・板書し説明することにより、震災手形処理の仕組みを理解できるようにする。その際、発問により日本銀行の機能にも触れる。 | | | |
| 開拓 | 2. 二大政党 | <ul style="list-style-type: none"> ・震災手形処理問題が政争化していくことを把握し、併せて二大政党（憲政会〔のちの民政党〕と政友会）の比較を行い、政党政治の展開について考察する。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・二大政党の政策の概要を比較し、震災手形処理問題が政争化していくことに留意する。 | | | |
| | 3. 資本の集中 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌の沈静化によって、中小銀行の整理・合併が進み、五大銀行による金融支配が進んでいくことを理解する。 ・財閥の産業支配の様子や政党との関係を把握し、軍部や右翼、庶民からの反発が強まる要因の一つであることを理解する。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・『図録』を用いて、資本の集中の状況を確認する。また、公民科の既習事項についても、確認する。 ・全体を通して歴史的事象を適切に関連付け、時系列に沿ってプリントをまとめられるよう机間指導時に個別指導する。 | | | |
| まとめ | まとめと展望 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を確認し、さらに今後、恐慌に巻き込まれていくことを知る。 | 5分 | <p>☆本時の考察の結果をプリントにまとめてある。(プリント、思考・判断、技能・表現)</p> | | | |